

# 行 財 政 委 員 会

《 令和8年3月17日 》

( 案 件 )

1 令和7年度議会による行政評価 施策評価（事務事業）の予算措置等の状況について

2 その他

## 令和7年度 議会による行政評価 施策評価(事務事業)の予算措置等の状況

### <資料一覧>

ページ

資料1【評価結果】地域で自分らしく暮らすための支援 …… 3

資料2【事務事業】事務事業評価の予算措置等の状況 …… 4

- (1) 高齢者の生きがいと健康づくり事業
- (2) 高齢者入浴利用料助成事業
- (3) 包括的支援事業
- (4) 一般介護予防事業
- (5) 認知症総合支援事業



【評価結果】地域で自分らしく暮らすための支援

資料1

【議会による評価】

拡充・現状維持・縮小・廃止

【市総合評価】

- A：計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
- B：ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
- C：目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
- D：目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

【施策評価結果】

施策名	担当課	施策内容	議会評価	議会評価【総括コメント】
地域で自分らしく暮らすための支援	地域共生推進課	<p>●住み慣れた地域で、社会に参加しつつ、自立した日常生活を営むことができるよう介護予防事業を推進します。</p> <p>●地域における包括的な相談・支援の体制充実を図ります。</p> <p>(現況と課題)</p> <p>●緊急通報装置については、緊急通報の受信や月1回の安否確認を行うことにより、ひとり暮らし等高齢者を支援しています。また、地域包括支援センターについては、地域の多様な関係機関・団体との連携を強化し、支援体制を構築していますが、複合多問題ケースへの対応が求められています。</p> <p>●介護予防事業として、カラオケ機器を利用した音楽介護予防教室(泉佐野元気塾)などを実施しています。</p> <p>●就労意欲のある高齢者に対して、シルバー人材センターを通じた就労支援や、ボランティア活動の促進に取り組んでいます。また、地域活動については、地域資源の情報発信、周知の必要があります。</p>	現状維持	<p>団塊世代が後期高齢者となる2025年を迎えるにあたり、本施策の重要性を多くの委員が共有していることを確認し、評価の方向性としては、「現状の取組を基盤としつつ、今後の社会状況の変化に応じて施策を発展させていくべきである」との意見に集約しました。施策の基本理念を市民が実感できる成果へと結びつけるために、各事業の指標と施策全体のKPIとの連動性を高め、実効性をさらに向上させていただきたい。</p> <p>以下、当該施策を構成する事務事業3事業について、特に包括的支援事業では、多様な相談に対応する人員体制の強化は多くの委員の要望であり、地域ボランティア等による人のつながりの構築、各地域包括支援センター間のサービス格差の解消、ICTによる継続性の確保など、今後も高齢者が安心して暮らせる地域包括ケア実現の拡充を求めます。</p> <p>次に、現状維持と拡充を求める意見が同数であった2事業、まず一般介護予防事業では、市民が参加しやすい環境づくりの強化を図ってください。認知症総合支援事業では、早期発見から切れ目のないケア体制の充実と家庭・地域が一体となって支える仕組みの強化を求めます。これらの事業については縮小を求める委員はおらず、より一層のご尽力をお願い申し上げます。</p> <p>以上の意見を踏まえ、市民の皆さまの人生基盤に安心と希望を与えていただきますよう益々の施策発展をお願い申し上げます。</p>
			市評価	所見
			B	<p>高齢者の増加に伴い、今後事業が増加していくことが想定される。市民ニーズを的確に捉え、KPIの達成に努められたい。</p>

【事務事業】事務事業評価の予算措置等の状況

資料2

【評価結果（方向性）】 A:拡大、B:現状維持、C:縮小、D:休止、E:段階的に廃止、F:即廃止（完了）

単位（千円）

施策名	事業名/事業内容	担当課の自己評価	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	増減	増減率(%)	予算の内容(R8/R7)千円	予算措置状況	備考(R6決算額)	
地域で自分らしく暮らすための支援（地域共生推進課）	1 高齢者の生きがいと健康づくり事業	B:現状維持	12,933	12,474	459	3.7	・地域ポイント「さのぼ」取扱委託料+450（⑧2,250/⑦1,800）	令和8年度予算額12,933千円と前年度比459千円、率にして3.7%の増額となっています。 増額の主な要因としては、長生会連合会会員演芸大会及び各地域での単位長生会演芸大会等への参加者に対するさのぼポイント付与にかかる委託料を参加実績を加味して450千円増額したことによるものです。その他の内訳では、長生会連合会補助金として10,524千円で前年度と同額となっています。	10,348	
	■泉佐野市長生会連合会が行う高齢者の生きがいと健康づくり事業への事業補助									
	2 高齢者入浴利用料助成事業	B:現状維持	9,100	9,100	0	0	・増減なし	令和8年度と令和7年度の予算額が同額の9,100千円の増減なしとなっています。 予算内訳では、さのぼポイント付与にかかる機器の修繕料などの需用費で100千円、各浴場での入浴料相当のさのぼポイント付与にかかる委託料で9,000千円となっており、これは前年度と同額ですが、全体の執行状況を考慮した減額要素と、市立共同浴場の現場の混雑状況の緩和のためポイント付与対象となる時間拡充による増額要素を鑑みたくうで同額としたものです。	6,337	
	■地域ポイント「さのぼ」を使った高齢者の入浴料助成事業									
	3 包括的支援事業	B:現状維持	131,887	131,887	0	0	・増減なし	令和8年度と令和7年度の予算額が同額の131,887千円の増減なしとなっています。 予算内訳では、1箇所の基幹型包括支援センター業務（高齢者支援分）委託料22,669千円、5箇所の地域型包括支援センター業務（高齢者支援分）委託料109,218千円で前年度と同額となります。高齢者数の増加や相談内容の多様化から本事業の充実化は必須と認識しておりますが、予算面では、過去2年増額を行った状況と近隣他市状況などを踏まえて現状維持としたものです。	125,854	
■地域包括支援センターの運営に係る委託料										
4 一般介護予防事業	B:現状維持	60,506	44,114	16,392	37.2	報償費+311 需用費▲395 役務費▲16 委託料+1,274 使用料及び賃借料+15,218（カラオケ機器の更新）	令和8年度予算額60,506千円と前年度比16,392千円、率にして37.2%の増額となっています。 増額の主な要因としては、泉佐野元気塾を安定的に開催し、利用者数の維持・増員を図るため、使用期間が長くなったカラオケ機器を更新することによる介護予防機器借上料15,214千円が皆増、泉佐野元気塾の運営にかかる委託料として、介護予防事業委託料が955千円増額となったことによるものです。	37,525		
■介護予防に関する知識の普及、啓発や地域における自主的な活動の育成支援										
5 認知症総合支援事業	B:現状維持	10,518	10,518	0	0	・増減なし	令和8年度と令和7年度の予算額が同額の10,518千円の増減なしとなっています。 予算内訳では、基幹型包括支援センター業務（認知症支援分）委託料が10,518千円で前年度と同額となっています。	9,266		
■認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう認知症の人への効果的な支援や地域づくりを推進する事業										